

### (大田市教育ビジョンの策定)

平成 28 年 2 月、本市としてはじめてとなります、教育に関する向こう 10 年の総合的な施策である「大田市教育ビジョン」の基本構想を策定いたしました。

多様で変化の激しい時代を、たくましく生き抜くことができる人材を育てるため、本市の強みを生かし、我が里への誇りを基盤としつつ、大田の未来を拓く教育に取り組んでまいります。

### (石見銀山遺跡)

石見銀山遺跡の整備については、世界遺産登録 10 周年事業として、大久保間歩坑内の公開区域について、最盛期を物語る「福石場」と呼ばれる大きな地下採掘場跡まで拡大する整備を行ってまいります。あわせて、世界遺産センターにおいて、最新の調査成果を基にした展示、文化的景観を主題とする展示などに更新し、石見銀山学講座とともに、遺跡の価値や魅力、平和と人権尊重のユネスコの精神を市民の皆様や来訪者に伝えるよう取り組んでまいります。

また、町並み保存についても、引き続き建造物の保存修理や防災施設整備を進めるとともに、沖泊集落の維持活性化に取り組むため「地域おこし協力隊員」を配置いたします。

### (地域文化)

続いて、鳴り砂の浜「琴ヶ浜」については、平成 29 年度に国の指定文化財となるよう取り組みを一層推進するとともに、保存と保全に向けて地域の皆様との協議を進めながら機運の醸成に努めてまいります。

また、囲碁を活用した小学校での教育活動の取り組みや、本市ゆかりの文化人の顕彰を継続するなど、本市がもつ文化や遺産の継承に努めてまいります。

### (学校教育)

次に、学校教育についてであります。

まず、学力向上への新たな取り組みとして、小学校児童の個別支援の充実を図るため、3 年生以上の多人数学級に学習支援員を配置してまいります。また、中学生を対象とした土曜日や放課後の学習の場を拡充してまいります。

続いて、教育の魅力化についてであります。地域の「ひと・もの・こと」を生かした特色ある教育を進めることによって、「教育移住」などの人の流れがつかれるよう努めてまいります。そこで、市内の 2 つの高校に「地域おこし協力隊員」をコーディネーターとして配置し、市内小中学校との連携や特色のある教育の実施について検討するとともに、必要な支援を行ってまいります。

さらに、乳幼児期の教育の充実を図るため、子ども読書活動巡回指導員の配置や、図書館への幼児用図書の整備などを進めてまいります。

なお、学校統合については、「大田市学校再編実施計画」の最終年度となることから今後の方向性などについて検討を進めることとしております。

### (社会教育)

次に、社会教育についてであります。

公民館などを核とし、まちづくりセンターや家庭などとの連携、協働により地域の教育力を高めるため、地域ボランティアなどを中心とする学校支援活動をより一層進めてまいります。また、ふるさとへの誇りや愛着を育む取り組みを進め、主体的に地域を担う人材の育成につなげてまいります。

さらに、E S D（持続可能な社会の担い手を育む教育）の目指す理念や視点の導入などの啓発を図るとともに、N P Oなど地域の活動団体とも連携し、持続可能な社会を担う人づくりに取り組んでまいります。

### (生涯スポーツ)

続いて、スポーツの振興についてであります。

新年度においては「第 2 期大田市スポーツ推進計画」を策定し、スポーツ活動による地域再生と健康づくりなどに向け、改めて諸施策を強力に進めてまいります。

また、新たに「スポーツ選手強化育成事業」をスタートし、全国で活躍できる選手の育成や、全国大会に出場する選手・団体に対し補助を行ってまいります。

### (山村留学)

次に、山村留学事業については、引き続き「生き抜く力」を育む教育に取り組むとともに、今後の運営形態や受け入れ態勢など「山村留学のあり方」を再検討してまいります。

また、「地域おこし協力隊員」を配置し、高校に配置するコーディネーターと連携しながら市内と市外・県外の双方に向けた山村留学の魅力を高めてまいります。